

TUFS

Tokyo University of Foreign Studies

留学案内 2018

東京外国語大学



Study Abroad 2018



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

お問い合わせ先

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
東京外国語大学留学支援共同利用センター
Tel: 042-330-5113

2018年3月7日発行

tufspr2018030701



世界へ！

Contents

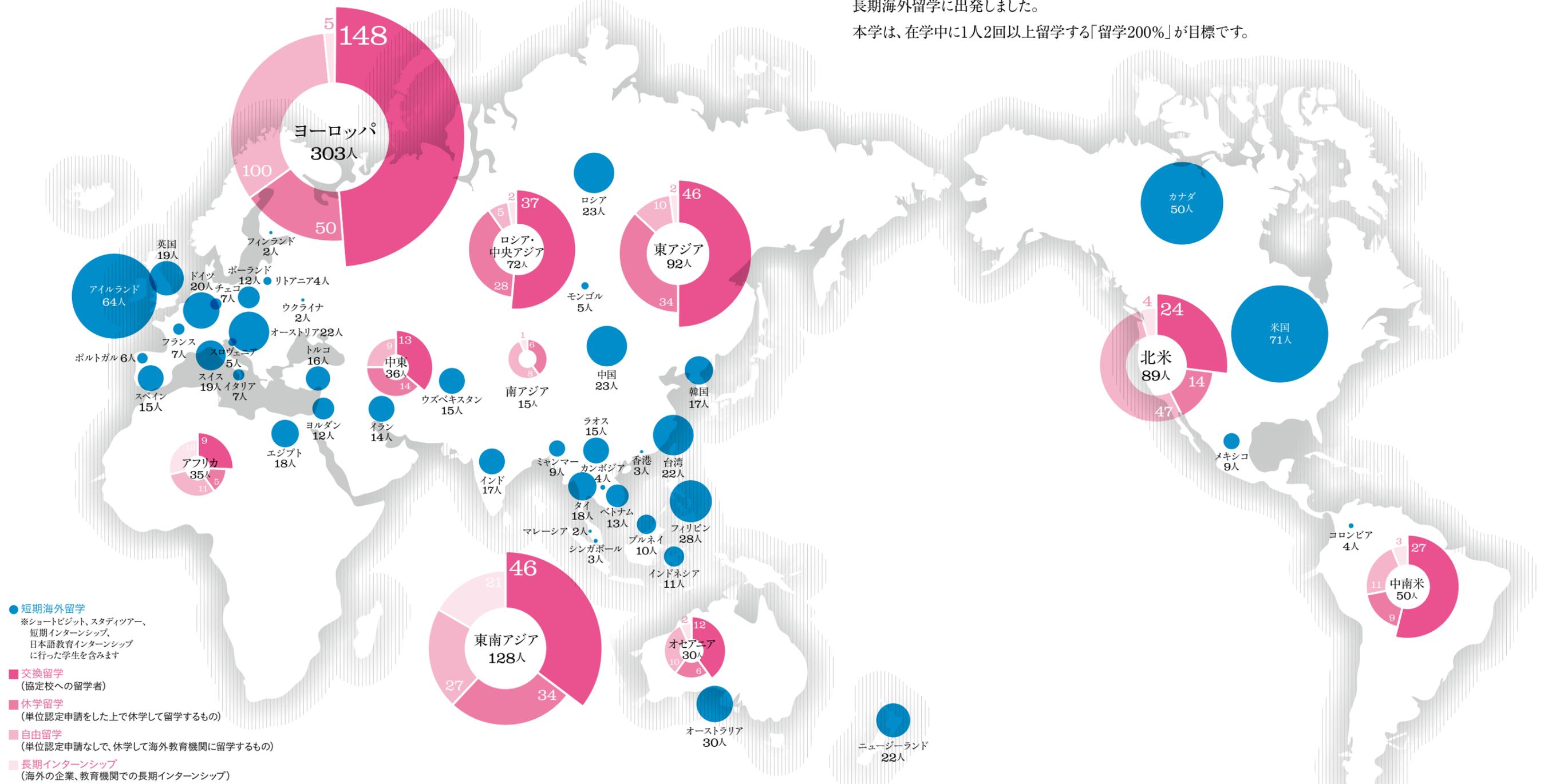
世界に広がる学びの舞台	—4
留学の種類	—6
学生交流協定校	—8
長期海外留学	
交換留学	—10
休学留学	—12
短期海外留学	
ショートビジット	—14
スタディツアー	—16
短期インターンシップ	—17
日本語教育インターンシップ	—17
留学体験報告	—18
単位と費用	—20
危機管理	—22
情報収集	—23

世界に広がる学びの舞台

2018年3月に卒業する日本人学生の71.6%が、在学中に留学を経験しました。

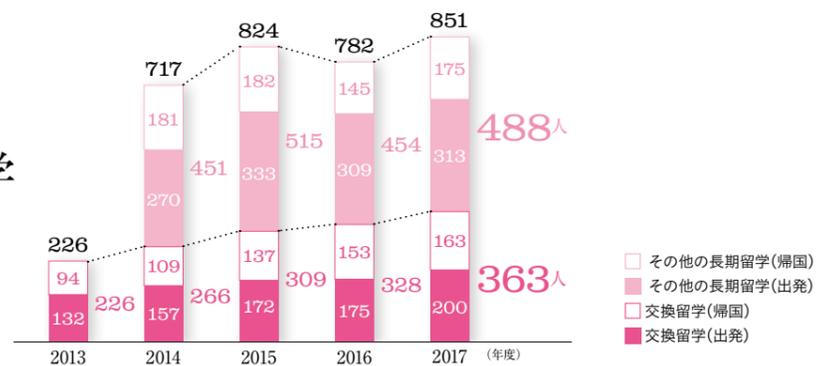
2017年度の1年生のうち48% (計383人) が短期海外留学をし、3年生のうち38% (計312人) が長期海外留学に出発しました。

本学は、在学中に1人2回以上留学する「留学200%」が目標です。



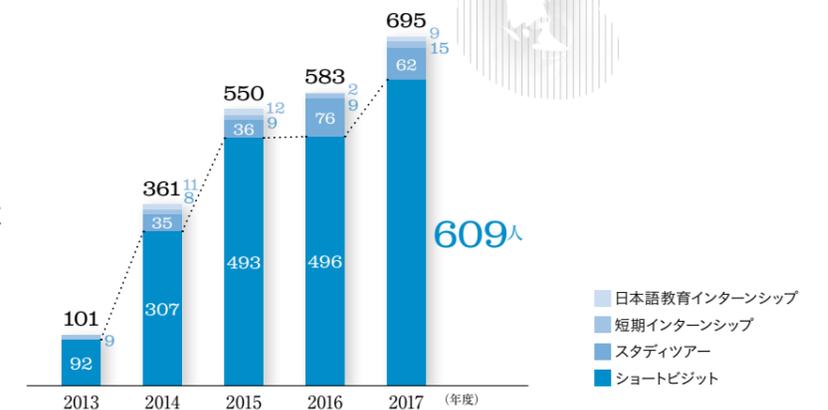
長期海外留学

長期海外留学は、交換留学を中心に増加しています。



短期海外留学

ショートビジットの他、多様なスタディツアーが開講されています。



一口に留学といっても、目的や希望する留学先、期間、予算などによってさまざまです。

本学では、4学期制における1学期以上の期間の留学を「長期海外留学」として定義しています。

夏学期・冬学期に行う留学や、学期中に大学が行うプログラムによる留学を「短期海外留学」と定義しています。

長期海外留学と短期海外留学をあわせて8つのタイプの留学があります。

長期海外留学

1 交換留学

本学協定校との学生交換の枠組みで、本学から派遣される形の留学です。2018年1月1日現在で、63カ国・地域の151の教育機関と学生交換に関する協定が結ばれています。協定に基づき、海外の協定校の学生が来日して本学で学ぶ一方、本学から先方大学に学生が派遣されます。例年、前年の10月に公募、11～12月に選抜、1月に決定というスケジュールです。

交換留学では、学生は本学を休学することなく派遣されることから、交換留学期間を含めて4年で卒業することが可能です。実際、4年で卒業し、就職や大学院進学を果たす学生が多数います。

また学費は、留学先で徴収されることはない代わりに、本学に納入します。生活にかかる経費は派遣先により異なりますが、大学としては奨学金の確保に努めています。2017年度出発の交換留学では、118人の派遣者にJASSO奨学金が支給されました。JASSO奨学金の受給には、本学での学業成績(GPA)が考慮されるほか、派遣先での単位取得が条件となっています。

2 休学留学

休学して留学する学生のうち、単位認定の申請を行っている学生の留学をさします。単位認定が行える機関は、事前に教授会で承認されていることが必要です。休学留学により取得した単位は、本学の卒業必要単位の一部とすることができます。

3 自由留学

休学して留学する学生のうち、単位認定の申請を行わずに海外の教育機関に留学をする学生の留学をさします。

4 長期インターンシップ

休学して海外に在住する学生のうち、その目的がインターンシップである場合がこれにあたります。国際交流基金による「日本語パートナーズ」による派遣も含まれます。

日本語パートナーズ
独立行政法人国際交流基金が実施する事業で、幅広い世代の人材を、ASEAN諸国の教育機関(主に中学・高校)で日本語を教える教師やその生徒の日本語学習の「パートナー」として派遣するものです。日本語パートナーズは、授業のアシスタントや会話の相手役といった活動をするとともに、教室内外での日本語・日本文化紹介活動などを行い、ASEAN諸国の日本語教育を支援します。同時に、日本語パートナーズ自身が現地の言語や文化についての学びを深め、ASEAN諸国と日本の架け橋になることを目標としています。

短期海外留学

1 ショートビジット

夏学期・冬学期に、海外の本学協定校に留学するものです。世界教養プログラム短期海外留学科目「ショートビジット」に登録して履修します。留学前教育、留学後教育をあわせて担当教員により単位認定が行われ、1回の留学に対し2単位が付与されます。

2 スタディツアー

協定大学との共同教育や海外での学修体験の獲得を目的に、本学や他の公的機関が実施するプログラムに参加するものです。世界教養プログラムスタディツアー科目に登録して履修します。ショートビジット同様、1回の留学に対し2単位が付与されます。

3 短期インターンシップ

本学のグローバルキャリアセンターが実施する海外での短期インターンシップに参加するものです。参加にあたっては、「グローバルビジネス講義」を履修している学生を優先します。また2017年度から就業体験科目の中でも短期の海外インターンシップが始まりました。

4 日本語教育インターンシップ

日本語教育を学ぶ本学学生が、海外で行うインターンシップです。言語文化学部グローバルコミュニケーションコースや大学院の日本語教育分野で実施されています。



世界がキャンパス

世界72カ国・地域の198の大学等研究機関と国際学術交流協定を結んでいます。そのうちの151の大学・機関とは学生交流・派遣に関する協定を結ぶなど、学生の往來を保証しています。151の大学・機関は、いずれも各国のトップ大学です。このネットワークを使って、2017年度には本学の203人の学生が約1年間の留学に飛び立ちました。協定校が実施するサマープログラム、スプリングプログラムに参加する短期海外留学(SV)も増えています。

ヨーロッパ

オーストリア
ウィーン大学

ベルギー
リエージュ大学

ブルガリア
ソフィア大学

チェコ
カレル大学
マサリク大学

フランス
パリ第三大学
パリ政治学院
フランス国立東洋言語文化大学
ボルドー政治学院
リール第3大学
パリ第七大学
グルノーブル第三大学・スタンダール大学
エクス・マルセイユ大学

ドイツ
ゲッティンゲン大学
エアランゲン-ニュルンベルグ大学
ビーレフェルト大学
ギーゼン大学
マールブルク大学
ハンブルク大学アジアアフリカ研究所
ミュンヘン大学ドイツ語講座(SV)
シュヴェービッシュ・グミュント教育大学
ベルリン自由大学

アイルランド
アイルランド国立大学コーク校

イタリア
ナポリ東洋大学
ヴェネツィア大学
トリノ大学
ローマ大学「ラ・サピエンツァ」
ボローニャ大学

オランダ
ライデン大学

ポーランド
ヤギェロン大学
シロンスク大学

ポルトガル
コインブラ大学
リスボン大学
ポルト大学

セルビア
ベオグラード大学

スロベニア
リュブリャーナ大学

スペイン
セビーリャ大学
ボンペウ・ファブラ大学
マドリード自治大学
アルカラ大学
バルセロナ自治大学
サラマンカ大学

スイス
ジュネーヴ大学
チューリヒ大学

ウクライナ
リヴィウ国立大学

英国
ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院
リーズ大学
マンチェスター大学
エセックス大学

リトアニア
ヴィータウタス・マグヌス大学

アフリカ

エジプト
カイロ大学
アイン・シャムス大学

モロッコ
ムハンマド5世大学アグダール校

モザンビーク
エドゥアルド・モンドラーネ大学
ルリオ大学

ザンビア
ザンビア大学

ジンバブエ
ジンバブウェ大学

カメルーン
チャン大学

南アフリカ
プレトリア大学

ルワンダ
プロテスタント人文・社会科学大学

ガーナ
ガーナ大学

ロシア・中央アジア

カザフスタン
カザフ国立大学

ロシア
ロシア国立人文大学
モスクワ大学
サンクト・ペテルブルク国立大学
モスクワ国際関係大学
極東連邦大学
国立研究大学高等経済学院
ブリヤート国立大学

トルクメニスタン
国際人文開発大学

ウズベキスタン
タシュケント国立東洋学大学

アジア

バングラデシュ
ダッカ大学

ブルネイ
ブルネイ・ダルサラーム大学

カンボジア
王立プノンペン大学

中国
上海外国語大学
北京語言大学
厦門大学
内モンゴル大学
東北師範大学
大連外国語大学
北京外国語大学
北京外国語学院
寧波大学

(香港)
香港中文大学
香港大学

インド
デリー大学
ジャドププル大学

インドネシア
ガジャマダ大学
インドネシア大学

ラオス
ラオス国立大学

マレーシア
マレーシア国民大学

モンゴル
モンゴル国立大学
ホブド大学

ミャンマー
ヤンゴン大学

パキスタン
パンジャブ大学オリエンタルカレッジ

フィリピン
フィリピン国立大学
デラサール大学
アテネオ・デ・マニラ大学

韓国
延世大学校
ソウル大学校
韓国外国語大学校
淑明女子大学校
韓信大学校
聖公会大学校
慶熙大学校
梨花女子大学

シンガポール
シンガポール国立大学人文社会科学部

タイ
シーナカリンウィロート大学
タマサート大学
チュラーロンコーン大学
チェンマイ大学



北京大学

ベトナム
ハノイ国家大学人文・社会科学大学
ホーチミン国家大学人文・社会科学大学
ハノイ国家大学外国語大学

台湾
国立政治大学
国立台湾大学
淡江大学
国立台湾師範大学
開南大学
国立清華大学

中東

イラン
アッラーメ・タバータバーイ大学
イスラーム自由大学シーラーズ分校
イスファハン大学

ヨルダン
アリー・バーバー・インターナショナル・センター(SV)

シリア
ダマスカス大学

トルコ
アンカラ大学
ボアジチ大学
マルマラ大学

パレスチナ
ビルゼイト大学

オセアニア

オーストラリア
オーストラリア国立大学
メルボルン大学
ディーキン大学(SV)

ニュージーランド
オークランド大学
ヴィクトリア大学ウェリントン



フィリピン国立大学

北米

カナダ
ブリティッシュ・コロンビア大学
レジャイナ大学

米国
カリフォルニア大学サンディエゴ校(SV)
ニューヨーク州立大学オルバニー校
ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校
サンディエゴ州立大学
ネブラスカ大学カーニー校
テキサス大学オースティン校
ハワイ大学マノア校

中南米

アルゼンチン
国立ラプラタ大学

ブラジル
リオ・デ・ジャネイロ州立大学
パラナ連邦大学
カンピナス州立大学

コロンビア
エアフィット大学

メキシコ
グアナフアト大学
メキシコ国立自治大学

キューバ
ハバナ大学

(2018年1月1日現在)



サンディエゴ州立大学

制度

内容

大学間交流協定に基づく協定校への留学

授業料

本学へ納入。留学先は免除

単位認定

可[※]

※交換留学で、先方大学において修得した単位を本学の単位として認定する際は、教務委員会・教授会での審議が必要です。その審議結果によっては、単位が認定されない場合があります。

学年

第2年次春学期終了後

学年進行

あり(修学年限・在学年限に通算する)

期間

3カ月以上1年未満

提出書類

留学願・留学計画書(→留学生課へ[留学1カ月前までに])

承諾書兼誓約書(→留学生課へ[留学1カ月前までに])

留学終了届(→留学生課へ[帰国後3週間以内])

単位互換に必要な書類

単位認定申請書・留学先での成績証明書・シラバス等(→帰国後すみやかに教務課へ)

[単位の認定基準]

■本学で認定を希望する科目が、「言語科目」の場合
留学先大学での科目の履修時間が30時間以上=1単位、60時間以上=2単位

■本学で認定を希望する科目が、「言語科目以外」の場合
留学先大学での科目の履修時間が30時間以上=2単位、60時間以上=4単位

スケジュール



選考要件

書類審査、面接、成績、語学力を総合的に勘案し、選考します。選考要件は派遣先大学によって異なりますが、英語圏に留学を希望する場合、10月下旬の応募時点で先方が求めるスコアをクリアしていることが条件となります。

《例(2018年2月現在)》

英国・マンチェスター大学
IELTS 6.5

アイルランド・アイルランド
国立大学コーク校
IELTS 6.0(各セクション5.5以上)、TOEFL
iBT 79以上

米国・ニューヨーク州立大学
オルバニー校
IELTS 6.0、TOEFL iBT 70以上

カナダ・ブリティッシュ・
コロンビア大学
IELTS 6.5(各セクション6.0以上)、TOEFL
iBT 90以上(Listening & Reading 22、
Speaking and Writing 21以上)

注意!

第2年次秋学期から留学する場合は第2年次春学期までに3年次へ進級するための単位を修得しておく必要があります。

■ 交換留学国・地域別人数(2017年度出発者)

順位	留学先国・地域	交換留学(人)
1	ドイツ	18
2	フランス	17
3	ロシア	15
4	スペイン	12
5	イギリス	11
6	ブラジル	10
7	韓国	8
	カナダ	8
	イタリア	8
8	タイ	7
	トルコ	7
9	台湾	5
	スイス	5
	ベトナム	5
10	中国	4
	エジプト	4
	アメリカ	4
11	香港	3
	ラオス	3
	モンゴル	3
	ミャンマー	3
	メキシコ	3
	オーストラリア	3
	ニュージーランド	3
	ウズベキスタン	3
	ポルトガル	3
	チェコ	3
12	カンボジア	2
	インドネシア	2
	シンガポール	2
	アルゼンチン	2
	コロンビア	2
	カザフスタン	2
	ポーランド	2
	アイルランド	2
13	ブルネイ	1
	マレーシア	1
	オーストリア	1
	イラン	1
	パレスチナ	1
	モロッコ	1
	ブルガリア	1
	オランダ	1
	リトアニア	1
	合計	203

(大学院生含む)



休学留学

制度

内容

休学して留学する学生のうち、単位認定の申請を行っている学生の留学(単位認定が行える機関は、事前承認が必要)。休学留学により取得した単位は、本学の卒業必要単位の一部とすることが可能。

期間

原則として6カ月以上1年未満

授業料

本学は免除。留学先へ納入

単位認定

可[※]

[※]留学する前に教務課へ申請し、認められた場合のみ、単位認定が可能です。

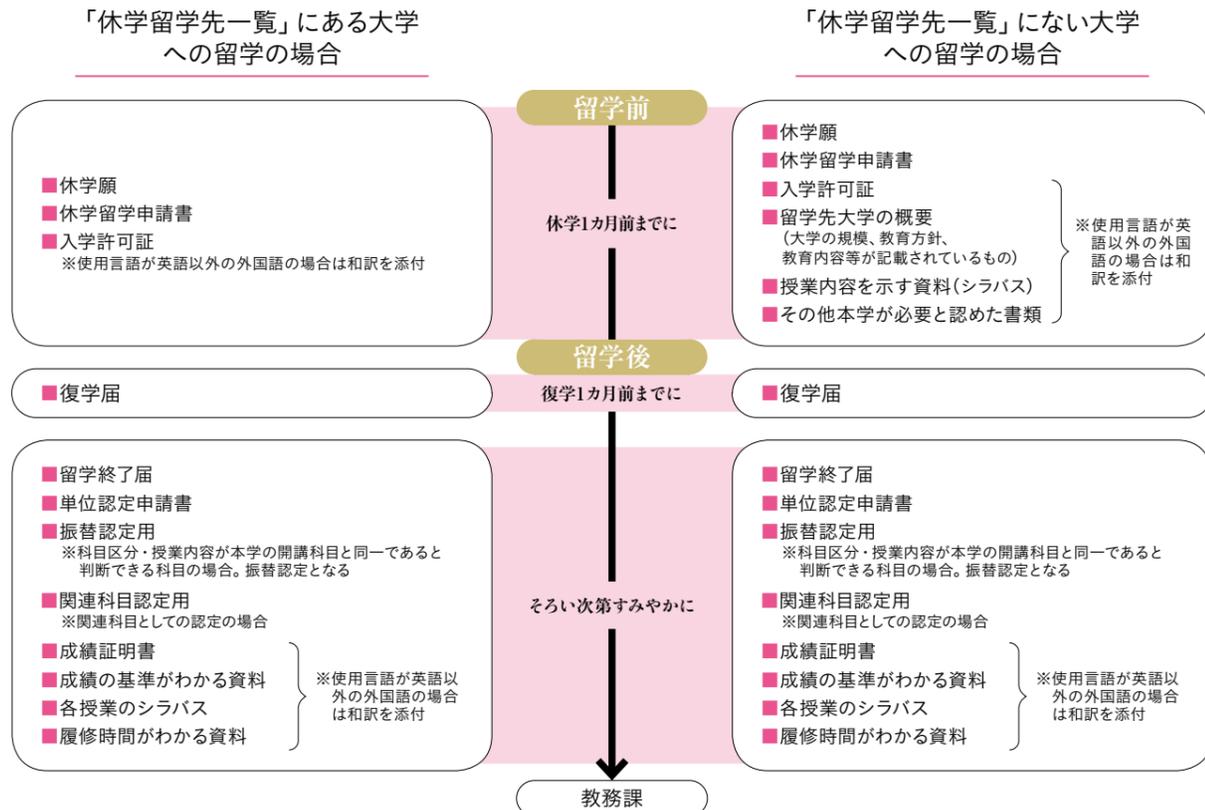
学年

第3年次以上

学年進行

なし(留年)

提出書類のスケジュール



■ 休学留学先一覧(本学協定校以外の実績。協定校はp8-9参照)

(2018年1月現在)

国・地域名	大学名
アメリカ	オレゴン大学
	カリフォルニア大学リバーサイド校
	カリフォルニア州立大学フレズノ校
	サンタ モニカ カレッジ
	ノーザン・イリノイ大学
	バークレーカレッジ
	ボストン大学
	ミルズ大学
	モンタナ大学
	コロラド州立大学
	ベルビュー大学
	マンハッタン・カレッジ
	イリノイ大学 アーバナ・シャンペーン校
	アイオワ大学
アメリカン大学	
サザンオレゴン大学	
ワシントン大学	
イギリス	ウルバーハンプトン大学
	エクセター大学
	オックスフォード・ブルックス大学
	グラスゴー大学
	グロスターシャー大学
	ダブリンシティ大学
	ダラム大学
	バーミンガム大学
	ブラッドフォード大学
	レスター大学
	ロンドン大学
	イーストアングリア大学
	ロンドン大学クイーン・メアリー
	エジンバラ大学
ブリストル大学	
ロンドン・メトロポリタン大学	
ローハンプトン大学	
ニューカッスル大学	
オーストラリア	アデレード大学
	ニューサウスウェールズ大学
	グリフィス大学
	ロイヤルメルボルン工科大学
オランダ	アムステルダム大学
	エラスムス大学
カナダ	アルバータ大学
	セントメリーズ大学
ノルウェー	ヴィクトリア大学
	ヴォルダ大学
ドイツ	ハイデルベルク大学 国際学業センター
	フライブルク大学
	マルティン・ルター大学
	チュービンゲン大学
	ザールラント大学
	ロイファナ大学
ミュンスター大学	
フランス	ストラスブール大学付属語学学校
	バリ第四大学
	フランス国立政治学研究院
	ボワティエ大学
	リヨン第2大学
	ニース大学
ポルドーセガレーヌ大学	
イタリア	バドヴァ大学
	サラゴサ大学
スペイン	バルセロナ大学人文学部
	レオン大学
	マキシモニベル
	コンプルテンセ大学
	グラナダ大学

国・地域名	大学名
メキシコ	グアダハラハラ大学
	メキシコ人類学・歴史学大学
	ユカタン自治大学
	メキシコ州立自治大学
	セントロ デ インベスティガシオン ドセンシア エコノミカス
ペルー	ペルー・カトリカ大学
チリ	アウストラル大学
ブラジル	サンパウロ大学
	フルミネンセ連邦大学
	リオ・グランデ・ド・スル連邦大学
	リオ・デ・ジャネイロ連邦大学
ポルトガル	ミーニョ大学
チュニジア共和国	チュニスエル・マナール大学付属ブルキバ現代語学院
ロシア	国立プーシキン記念ロシア語大学
	ロシア国立社会大学
	ロシア演劇大学
	国際経済言語大学(イルクーツク国立大学附属)
	極東国立交通大学
	極東連邦大学付属語学学校
	太平洋国立大学
	スリコフ記念モスク国立芸術大学
	イルクーツク大学附属経済言語大学
	ノヴォシビルスク大学
ウズベキスタン	サマルカンド外国語大学 地域語学センター
サマルカンド国立外国語大学	
ベラルーシ	ベラルーシ国立大学
ミンスク国立言語大学	
ポーランド	ワルシャワ大学
チェコ	バラツキー大学
中国	華東師範大学
	首都師範大学
	清華大学
	対外経済貿易大学
	北京師範大学
	北京第二外国語大学
	東北財経大学
	復旦大学
	南開大学
	南開大学 漢語言文化学院
	遼寧師範大学
	山東大学
	浙江大学
	中央民族大学国際教育学院
上海財経大学	
黒竜江大学	
大連理工大国際教育学院	
延辺大学	
西安交通大学	
湖北大学	
韓国	高麗大学校
	慶北大学校
インドネシア	インドネシア教育大学
	バジャラン大学
	スプラズ・マレット大学
マレーシア	マラヤ大学 社会科学学部
	マレーシア国立大学
タイ	カセサート大学
コンケン大学	
ミャンマー	ヤンゴン外国語大学
	国際上座仏教大学
パキスタン	カラチ大学
	イスラマバード国際イスラーム大学
インド	ジャーミア・ミッリアー・イスラーム大学
	セントラル インスティテュート オブ ヒンディ
エジプト	アレクサンドリア大学
カイロ・アメリカン大学	
イスラエル	ナジャーハ大学
ヨルダン	ヨルダン大学

制度

内容

夏学期・冬学期を利用し、大学指定の短期プログラムへ参加

学年

全学年(卒業直前の学期でないこと)

期間

2カ月未満

授業料

参加費その他すべて本人負担

提出書類

留学願・留学計画書(→留学支援共同利用センターへ[留学3週間前までに])
 承諾書兼誓約書(→留学支援共同利用センターへ[渡航3週間前までに])
 留学終了届(→留学支援共同利用センターへ[帰国後3週間以内])

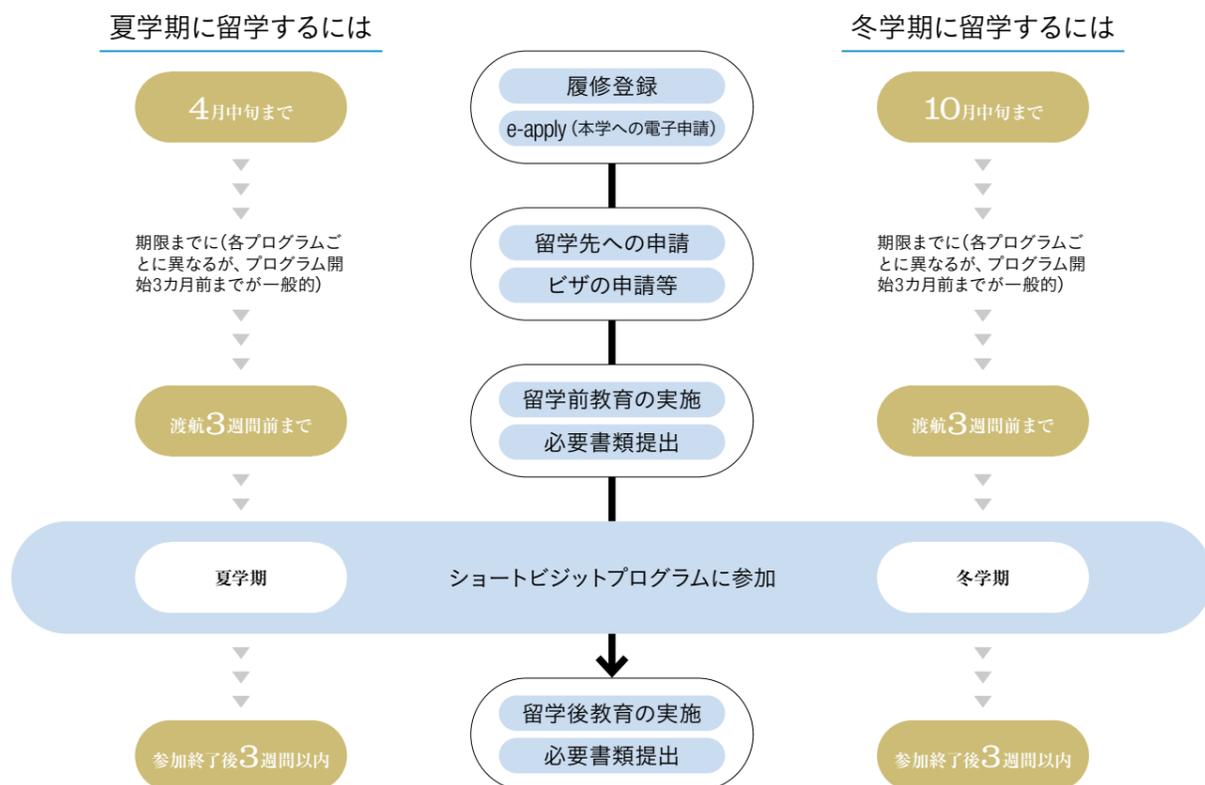
単位認定

可

単位互換に必要な書類

留学先での成績証明書・修了書・シラバス等(→帰国後すみやかに留学支援共同利用センターへ)

スケジュール



2017年度ショートビジットプログラムリスト

国・地域名	大学	各国言語コース		英語コース		英語で学ぶ総合型コース	
		夏	冬	夏	冬	夏	冬
アイルランド	アイルランド国立大学コーク校			●	●		
アメリカ	カリフォルニア大学サンディエゴ校			●	●	●	
	コロンビア大学			●			
	サンディエゴ州立大学			●	●		
	ニューヨーク州立大学オルバニー校					●	
	ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校					●	
イギリス	ハワイ大学マノア校			●	●		
	エセックス大学			●			
	マンチェスター大学			●	●	●	
	リーズ大学			●	●		
イタリア	ロンドン大学東洋・アフリカ研究院			●	●		
	ヴェネツィア大学	●					
	トリノ大学	●				●	
イラン	ボローニャ大学					●	●
	イスラーム自由大学シーラーズ校	●					
インド	ザバーン・ランゲージ・インスティテュート			●			
	ジャドプル大学			●			
インドネシア	ガジャマダ大学					●	
ウクライナ	リヴィウ国立大学	●					
エジプト	カイロ大学	●	●				
オーストラリア	ディーキン大学			●	●		
オーストリア	ウィーン大学	●	●			●	●
オランダ	ライデン大学	●				●	
	ブリティッシュコロンビア大学			●	●	●	
カナダ	レジャイナ大学			●	●		
	延世大学校	●	●				
韓国	韓国外国語大学校	●	●				
	韓信大学校	●					
	淑明女子大学校	●	●				
	聖公会大学校	●	●				
	ソウル大学校	●					
	梨花女子大学		●				
	慶熙大学校	●	●				
カンボジア	王立プノンベン大学			●			
キューバ	ハバナ大学	●					
コロンビア	エアフィット大学	●	●				
スイス	ジュネーブ大学	●	●			●	
	アルカラ大学	●					
	サラマンカ大学	●	●				
スペイン	バルセロナ自治大学					●	
	マラガ大学			●			
スロヴェニア	リュブリャナ大学	●	●				

国・地域名	大学	各国言語コース		英語コース		英語で学ぶ総合型コース	
		夏	冬	夏	冬	夏	冬
タイ	シーナカリンウィロート大学			●			
台湾	国立台湾大学	●	●			●	●
	国立台湾師範大学	●	●				
	淡江大学	●	●				
	開南大学	●					
チェコ	カレル大学	●	●			●	
中国	北京語言大学	●	●				
	北京大学	●	●				
	上海外国語大学	●					
ドイツ	ギーゼン大学	●	●				
	ゲッチンゲン大学	●					
	ケルン大学アフリカ学研究所					●	
	ハンブルク大学(アジアアフリカ研究所)	●					
	マルブルク大学						●
ミュンヘン大学	●						
トルコ	アンカラ大学	●	●				
ニュージーランド	オークランド大学			●	●		
フィリピン	デラサル大学			●	●		
フィンランド	オウル大学					●	
フランス	エクス・マルセイユ大学	●					
	グルノーブル大学	●					
	パリ政治学院						●
ブルガリア	ソフィア大学	●	●				
ブルネイ	ブルネイ・ダルサラーム大学					●	●
ベトナム	ハノイ国家大学人文・社会科学大学	●					
ポーランド	シロンスク大学	●					
	ヤギェロン大学	●	●				
ポルトガル	コインブラ大学	●	●				
	ポルト大学			●			
リスボン大学	●						
香港	香港中文大学	●					
マレーシア	マレーシア国民大学	●					
ミャンマー	ヤンゴン大学	●					
メキシコ	グアナフアト大学	●	●				
モンゴル	モンゴル国立大学	●					
ヨルダン	アリー・バーバー・インターナショナル・センター	●	●				
ラオス	ラオス国立大学			●			
リトアニア	ヴィータウタスマグナス大学(カウナス)	●					
ロシア	国立研究大学高等経済学院					●	
	モスクワ大学(及びサンクトペテルブルク大学)	●	●				
	モスクワ国際関係大学	●					
	極東連邦大学	●					●

最新プログラムリスト: <http://www.tufs.ac.jp/student/studyabroad/shortvisit/>

コース

ムンバイ(インド)で
スラムとソーシャルワークを
学ぶスタディツアー

インド・ムンバイにて、インド現代社会に関する集中講義と、市内スラム地区 Dharaviでのフィールドワークを行います。ムンバイ大学ソーシャルワーク・カレッジ(Nirmala Niketan)、住民自治組織 PROUD、その他現地NGOの協力により、本事業は実施されます。講義や実習はすべて英語で行います。

学期：冬学期
(2019年1月～2月に10日間程度)

募集人数：4～6名



※大学より渡航費、滞在費等の補助があります。英語は必須。ヒンディー語またはウルドゥー語の能力があることが望ましいですが、応募動機が明確であれば、学部・学年や履修言語は問いません。

国連の活動とキャリア：
国連見学のスタディツアー

国際連合本部で諸現場の職員から実際の職務内容とその意義、国連の可能性や問題点などを伺います。出発前に現代世界における国連の意義、その具体的な活動などを事前学習した上で、国連へのスタディツアーに参加します。帰国後には、各自の報告と詳細なレポートの提出が求められます。

学期：冬学期
(2019年1月～2月に実施予定)

※渡航費、滞在費等は自己負担となります。

ピースボート地球大学で
洋上学習のスタディツアー

日本を含むアジア4カ国・地域(東京、台湾、シンガポール、ミャンマー)を船(ピースボート)で移動し、洋上学習とフィールドワークを通じて、地域の現実と課題について集中的に学びます。「ピースボート地球大学」との連携事業。

学期：夏学期
(2018年8月に2週間程度)

募集人数：5名程度

※大学より渡航費、滞在費等の補助があります。すべての学部生が対象ですが、英語でのディスカッション能力が必須です。

ウズベキスタン・
スタディツアー

協定校であるタシュケント国立東洋学大学での学生交流を中心とし、中央アジア地域を実地体験に基づいて、より深く理解することを目的としたプログラムです。

学期：冬学期
(2019年3月に実施)

対象：主に、中央アジア地域を専攻する1年生

※条件を満たした場合、日本学生支援機構(JASSO)の奨学金の支給対象となります。

コース

経済同友会を通じた
インターンシップ：
ANA(シアトル、バンクーバー)

世界教養プログラム就業体験科目で開設される「経済同友会インターンシップ」では、学部1年生・2年生を、経済同友会関連の企業数社に派遣します。これにより、社会や企業を体験することを目的としています。2018年度には、ANAによるシアトル、バンクーバーでの実習も予定。海外での短期インターンシップを体験することができます。事前研修、事後研修とあわせて、単位が認定されます。

学期：夏学期
(2018年9月に2週間程度を予定)

募集人員：2名

対象：2年生

※費用の多くは企業負担となります。

淡江大学(台湾)
日本語教育インターンシップ

言語文化学部グローバルコミュニケーションコースでは日本語教育分野の学生に対するインターンシップ科目を開講しています(「インターンシップB」)。秋学期のインターンシップ科目でインターネットを通じた日本語教育の実習を行った上で、冬学期に台湾の淡江大学において教壇に立ってインターンシップを行います。

学期：冬学期(2019年3月に実施予定)

※条件を満たした場合、日本学生支援機構(JASSO)の奨学金の支給対象となります。

その他本学推薦の海外インターンシップ

毎年複数の海外企業から、東京外大生限定の長期インターンシッププログラムを設定していただいています。以下は、2017年度の実績です。

インターンシップ先	期間	人数	内容
AYANA HOTEL&SPA and RIMBA JIMBARAN by AYANA インドネシア(バリ島)	2017年8月21日(月)～9月15日(金) 8月28日(月)～9月22日(金)	2名 (要英語力)	Japanese Guest Relationでの実務
PT Toyota Motor Manufacturing Indonesia インドネシア	2017年8月28日(月)～9月13日(水)	2名 (インドネシア語専攻)	下記部署での実務 ・ External Affairs Division ・ Purchasing Division
UMW Toyota Motor Sdn. Bhd. マレーシア	2017年8月21日(月)～9月15日(金)	2名 (マレーシア語専攻)	下記部署での実務 ・ Human Resources Department ・ Demand & Supply Management Department ・ C & A Marketing
Toyota Motor Asia Pacific Pte Ltd シンガポール	2017年9月4日(月)～29日(金)	3名 (要英語力)	広報・宣伝・販促活動等、マーケティング実務 企業・商品ブランド向上施策を学ぶ
矢崎投資有限公司 中国	2017年8月21日(月)～9月1日(金)	2名	管理・間接部門での業務サポート 生産現場(工場)見学
Toyota Motor Philippines Corporation フィリピン	2018年2月1日(木)～28日(水)	2名 (要英語力)	下記部署での実務 ・ Customer Relations Department ・ Dealer Development Department

留学体験報告

東京外大から世界へ——。実体験に勝るものなし

交換留学

Report1

平井理慧さん

言語文化学部4年
中国語/東アジア地域
グローバルコミュニケーションコース
国立政治大学(台湾)

以前から興味を持っていた台湾での生活を体験したい、台湾での中国語を学びたいと思い、台湾への留学を決めました。いざ留学が始まると、寮での共同生活、外国人という立場に置かれること……初めてのことで新鮮でした。一度日本を離れることで、これまで住んでいた日本を客観的に見つめる一方、自分の知っていた台湾とはまた違った姿が見えてきました。全部で320日間滞在していましたが、そのどの部分を切り取っても、濃密で学びと面白さに満ちた日々で、一生忘れられないと思います。今後、再び海外に長期滞在する機会に恵まれたとしても、この留学には代え難いように思います。留学中に経験したことやさまざまな人との出会いは、留学を終えた今でもずっと続いています。ある程度長期間海外に滞在し学ぶことは、不安に思うでしょう。しかし、ほんの少しの勇気で自分の人生にとって、多くの価値ある体験が得られるのです。「留学はいいぞ」と、心の底からおすすめしたいと思います。



Report2

宇佐美 希さん

国際社会学部4年
東アジア地域/中国語
地域社会研究コース
北京大学(中国)

留学中は、日中社会問題座談会や学術分野横断勉強会など、さまざまな勉強会を企画しました。北京大学の優秀なエリートたちとの交流も面白かったですが、中国全省を低予算で旅行して、各地域の文化・歴史・社会を自分の目で見、現地の人々と交流して意見交換できたことが一番有意義でした。現地のいろんなコミュニティに飛び込み、老若男女、貧富、各思想、民族といったさまざまな視点から中国の現状を見て、現地の人から話を聞ける機会は留学を除いてまずないでしょう。これから留学を考えている人には、「自由を活用しよう!」ということが一番伝えたいと思います。留学生というのは、現地の大学にとってはある意味「お客さん」です。制約や強制される事柄が少なく、自分の頭で考え行動する事柄がうんと増えます。もちろん大学に真面目に出席し単位を取ることも大切ですが、それ以上に興味があること、やってみたいと思ったことを優先してどんどん取り組んでみることをおすすめします。



Report3

庄司康介さん

国際社会学部4年
北アメリカ地域/英語
国際関係コース
プリティッシュコロンビア大学(カナダ)

世界で最も住みやすい都市の1つとして知られ、多様な文化が共存するバンクーバー。そんな街は私を日本という外部から来た「アウトサイダー」としてお客様扱いすることなく、コミュニティの一員として受け入れてくれました。現地の教授や学生たちは、1年間だけの滞在で日本に帰ってしまう私を、英語のできない留学生としてではなく、日本や英語教育の知識がある1人の学生として受け入れて、大学の勉強だけでなくさまざまな活動に誘ってくれました。気がつけば、英語の教育実習、日本語学校の補佐、現地の小学校でのボランティアなど、留学前には想像もしなかったことを経験して、たくさんのお出会いに恵まれました。同じ場を共有している人々を、国籍や身分に関係なく、コミュニティの一員として対等に受け入れ、お互いに学び合い、助け合う、そんな人との関わり方を教わったと思います。異国で自分のコミュニティを持てたことは今の私の自信にもなっています。



ショートビジット

Report4

西依勇輝さん

国際社会学部1年
東南アジア地域/マレーシア語
ブルネイ・ダルサラーム大学(ブルネイ)

Global Leadership Summer School という1カ月のプログラムに参加しました。リーダーシップについてのワークショップのほか、社会科見学や、大学の寮でさまざまな国から来た参加者や現地の大学生と交流する時間も充実していました。留学を通して、コミュニケーションにおいて大事なのは、語学力ではないということを実感しました。他の参加者と積極的にコミュニケーションを取り、プログラムをより楽しいものにするためには、次の2つが重要だと思います。まずは、話題。そして、それを伝えたい、もしくは知りたいという気持ちです。片方でも欠けるとコミュニケーションが成立しません。自分から話しかけることができないからです。日本に興味を抱いている人は想像以上に多いので、こちらが話題を用意していれば飛びついてきます。ブルネイは広い国ではありませんが、ブルネイのプログラムに参加する方が世界中から集まっています。自分の中の世界を広げられる、濃い1カ月を経験できると思います。



Report5

武藤珠代さん

言語文化学部1年
英語/北アメリカ地域
カリフォルニア大学サンディエゴ校(米国)

留学先で出会ったすべての方が私の先生となりました。寮ではブラジルの医者やスペインのエンジニアといった方々と毎食を共にして会話を重ねることで、アメリカ英語のみならず第二言語として話される英語に耳を慣らすことができました。外出時に利用していた車の運転手の国籍もさまざま、初対面でもフレンドリーに会話してくれる人に多く出会いました。人生の教訓のようなものを教わることもあり、移動時間でさえとても刺激的でした。授業では初対面の人に自分から声をかけ、深い内容のインタビューをするという演習もあり、なかなか得られない貴重な経験となりました。帰国する1週間前くらいにリスニング力の向上を感じ、そこから自信が生まれると同時に、コミュニケーションを楽しむ余裕が生まれました。いつくらかわからない会話のチャンスを逃さないように、常にオープンな気持ちでいる努力が必要だと感じました。



Report6

佐々木美緒さん

国際社会学部2年
西南ヨーロッパ地域/ポルトガル語
国際関係コース
コインブラ大学(ポルトガル)

私が留学したコインブラ大学は、大学全体が世界遺産に登録されている伝統ある大学でした。授業はすべてポルトガル語で行われましたが、問題なく理解することができました。東京外大での勉強が糧となっているのだと改めて実感しました。また年齢や生活環境の異なる他の国からの留学生と切磋琢磨し合い、ポルトガル語を学んだことは刺激になりました。そしてこれを機に、さらに自分の学びを深めるため、長期留学に行きたいと強く願うようになりました。留学の際に必要なのは目的意識と積極性です。留学中は楽しいことばかりではなく、自分の思い通りにいかないこともあると思います。しかしそのような時に、目標を忘れずに努力し続けることは自分の中の大きな支え、そして指針になります。また積極的に行動することで、自分の世界を広げることができます。1カ月間はとても短いですが、自分が常に何かを学び続ける姿勢で生活していたら、そこから多くのことを得られます。



留学をして4年で卒業する！

交換留学をした場合、4年で卒業できるというのは皆さんご存じかと思いますが、就職活動の関係でほとんどの学生が5年で卒業している、と考えている方が多いのではないかと思います。しかし、実際には留学をして、4年で卒業し、就職や大学院に進学している学生も多くいます。3年次秋から留学をする場合は、以下の2点を押さえておきましょう。

1 単位認定について

留学が決定した後の、春学期・夏学期の履習計画をしっかりと立て、必要な単位の修得をしておきましょう。また、留学先で取得できる単位を、しっかりと計算しておき、留学中には、確実に単位を取得しましょう。

【単位認定手続きマニュアルはこちら】

<http://www.tufs.ac.jp/student/studyabroad/>

2 就職活動について

就職活動については、留学を経験した学生対象の合同企業説明会に参加すること、留学前および留学中にいかに準備を行うかが大切です。留学を経験した学生に焦点をあてた合同企業説明会が、東京では毎年複数回行われています。海外で行われる合同企業説明会もありますので、留学先付近で行われる場合は、参加しておくといでしょう。留学先で履歴書の作成、企業研究、企業訪問のアポ取りなどを行っておき、帰国後すぐに活動できるようにしておくことが重要です。

留学にかかる費用

留学すると一体どのくらいお金がかかるのか気になると思います。ここでは留学の種類や留学先ごとに大まかな費用を示しました。授業料は大学や履修する単位数により変わります。

生活費は国や地域、また、生活スタイル(学生寮、民間のアパート、ホテル)などで異なってきますので、ここに掲げた数字はあくまでも目安として参考にしてください。

費用の比較：交換留学と休学留学

■ 米国・ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校の場合(2セメスター)

	授業料等	生活費 (宿泊費、食費、小遣い等)	その他 (航空券、保険等)	合計
交換留学	60万円	150万円	50万円	260万円
休学留学	264万円	150万円	50万円	464万円

2016年、Full-time学生の場合。1USDドル=110円で換算。

■ カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学の場合(2セメスター)

	授業料等	生活費 (宿泊費、食費、小遣い等)	その他 (航空券、保険等)	合計
交換留学	60万円	120万円	50万円	230万円
休学留学	258万円	120万円	50万円	428万円

2016年、Full-time学生の場合。1カナダドル=85円で換算。

■ 英国・リーズ大学の場合(2セメスター)

	授業料等	生活費 (宿泊費、食費、小遣い等)	その他 (航空券、保険等)	合計
交換留学	60万円	110万円	50万円	220万円
休学留学	240万円	110万円	50万円	400万円

2016年、Full-time学生の場合。1英ポンド=160円で換算。

交換留学にかかる費用：国別

交換留学の場合、学費は本学に納入するため、それ以外にかかる費用は留学先の物価により左右されます。以下は

参考までに、6つの国の生活費(宿泊費、食費、雑費等を含めたもの)の目安を示します。

国	金額(月)	備考
ドイツ	約10万円	国立大学には学費が無料の場合も多い(運営費負担として年間数万円程度を支払う)。
フランス	約12万円	パリは他の都市に比べると物価が高い。学費の代わりに登録料、年間200ユーロ程度を支払う。
スペイン	約8万円	マドリッドやバルセロナなどの大都市は物価が高め。
ロシア	約6万円	モスクワやサンクトペテルブルクは物価が高め。
中国	約4万円	
韓国	約7万円	

短期海外留学(ショートビジット)にかかる費用

ショートビジットにかかる費用は、授業料、生活費(寮費、食費、現地交通費、その他)、渡航費、保険料などです。留学先、プログラムの期間によって大きく異なります。以下に具体例を示しま

す。各プログラムの授業料等については、ショートビジットのウェブサイト(<http://www.tufs.ac.jp/student/studyabroad/shortvisit/>)の「プログラムリスト」をご参照ください。

国	大学	プログラム名	金額
米国	カリフォルニア大学サンディエゴ校	4週間の英語学習プログラム	約50~70万円
アイルランド	アイルランド国立大学コーク校	4週間の英語学習プログラム	約50~70万円
ニュージーランド	オークランド大学	4週間の英語学習プログラム	約50~70万円
フランス	グルノーブル大学	4週間のフランス語学習プログラム	約50万円
スイス	ジュネーブ大学	3週間のフランス語学習プログラム	約40~50万円
トルコ	アンカラ大学	4週間のトルコ語学習プログラム	約30万円
中国	北京語言大学	4週間の中国語学習プログラム	約30万円
メキシコ	グアナフアト大学	4週間のスペイン語学習プログラム	約40万円
タイ	シーナカリンウィロート大学	2週間のタイ語学習プログラム	約20万円

語学習得を目的に自由留学をする場合にかかる費用

民間の語学学校、大学付属の語学学校、公立の語学学校などの選択肢があります。それぞれ長所・短所がありますので、よく調べて自分にあった学校を選ぶことが大切です。費用については、週あたりの授業時間数、滞在形態(寮、ホームステイ、ホテル、食事の有無)などにより大きく変わります。右記は、6カ月程度留学する場合の費用の目安です。

国	金額
米国	約200万円
カナダ	約160万円
英国	約200万円
オーストラリア	約180万円
フィリピン	約100万円
スペイン	約160万円
フランス	約200万円
ドイツ	約200万円



奨学金について

奨学金には、大きく分けて給付型(もらうもの)、貸与型(借りるもの)の2種類があります。給付型の奨学金制度としては、①JASSO(日本学生支援機構)の海外留学支援制度、②トビタテ!留学JAPAN~日本代表プログラム~、③各国政府による奨学金、④地方自治体や財団等によるものなどがあります。申込み時期は留学を開始する年度の前年度であるものが多いので、早めに情報収集をして、申込み期限に遅れないようにすることが大切です。奨学金情報はJASSOのウェブサイトで調べることができます。また、大学に案内がきたものについては、本学の「留学」のページのお知らせ欄に掲載しています。

■ JASSO奨学金(給付型)本学割当数
月額6万円~10万円

	2017年度	2018年度
交換留学生	123人	230人
短期海外留学生	300人	324人

【JASSO奨学金データベース】
http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/scholarship_search/

■ トビタテ! 留学JAPAN採用実績

期	採用人数
1	4
2	2
3	9
4	6
5	7
6	12
7	19
8	8
合計	67

【トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラム】
<http://www.tobitate.mext.go.jp>

体制

1 渡航前オリエンテーション・危機管理説明会・オンライン教材等による情報提供

渡航前に、現地ではどのようなリスクがあるかを十分に理解しておくことが重要です。東京外国語大学では、渡航前オリエンテーションでの説明に加え、全学生を対象とした危機管理説明会を行っており、広く参加を呼び掛けています。また、本学のe-learningサイト「TUFS Moodle」上に危機管理、および留学中の健康についてのオンライン教材を用意しています。留学をする学生は受講しましょう。



2 保険100%加入

交換留学、短期海外留学をする学生には、学研災付帯海外留学保険の加入を義務付けています。

3 現地の情報に精通した教員、OBからの指導・助言

経験豊富な教員や先輩方からの助言、指導を受けることができます。また、世界各地にいる卒業生によるサポート体制があることも本学の強みです。

4 ただいま海外留学中



2016年度より、海外渡航をする学生は全員このオンラインデータベースシステムに入っています。渡航先で住所等の変更があった場合はこのシステムを通じて報告を行い、メッセージ機能を利用して本学から危機管理等に関する連絡が送られます。

大学との定期的な連絡

緊急時の安否確認

渡航情報の把握

渡航後、留学生は本学ウェブサイト「ただいま海外留学中」を通じて大学と連絡を取りあいます。

留学の実施について
<p>本学では、留学の実施について、外務省海外安全情報 (http://www.anzen.mofa.go.jp/) における情報等を基に決定しています。外務省海外安全情報には、渡航・滞在にあたって特に注意が必要と考えられる国・地域ごとの危険情報が含まれます。この危険情報により、以下のとおり、レベル2、3、4に該当する国・地域への留学は中止となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■レベル4: 退避してください。渡航は止めてください(退避勧告)。→渡航を中止または即刻帰国 ■レベル3: 渡航は止めてください(渡航中止勧告)。→渡航を中止または帰国 ■レベル2: 不要不急の渡航は止めてください。→渡航を延期・中止または帰国 ■レベル1: 十分注意してください。→渡航を実施または継続するが、十分な注意を払う

重要!! 登録必須
<ul style="list-style-type: none"> ●3カ月以上海外に滞在する場合 在留届 (https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/) ●3カ月未満の海外渡航の場合 たびレジ (https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/)

留学情報

<p>[東京外国語大学] 留学支援 共同利用センター</p>	<p>留学支援共同利用センターでは、各国への留学に関する資料を閲覧できるほか、個別に留学についての相談を受け付けています。留学について漠然と考え始めた段階から、留学先への申請やビザの申請方法などの具体的なものまで、あらゆる相談に対応しています。相談は予約制となっています。相談をご希望の方は下記までお問い合わせください。 【お問い合わせ先】 留学支援共同利用センター(本部管理棟1F) e-mail: ryugakushien@tufs.ac.jp</p>
<p>[東京外国語大学] 留学体験報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交換留学の体験談 https://mdle.tufs.ac.jp/exchangeReport/ryugaku ■ ショートビジット留学の体験談 https://mdle.tufs.ac.jp/exchangeReport/visit ■ トビタくん留学日記(ブログによる留学報告) http://www.tufs.ac.jp/studyabroad/tobita/
<p>[東京外国語大学] 留学に関するコース</p>	<p>「TUFS Moodle」上に、以下の留学に関するコースがあります。参考にしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 交換留学に申請するための手続き 交換留学を希望し、申請手続きを行う際に必要な情報をまとめてあります。 2. 交換留学が決定した学生が行う手続き 交換留学の選考に合格し、各留学先への申請を行う段階の学生に対する情報をまとめてあります。 3. 外国人留学生の体験談 TUFSへ留学してきた学生のインタビュー映像です。各出身校別になっていますので、今後留学を考える学生は参考にしてください。 4. 交換留学体験談 交換留学を行った学生のインタビュー映像です。今後留学を考える際の参考にしてください。派遣先別になっています。
<p>[日本学生支援機構] 海外留学支援サイト</p>	<p>http://ryugaku.jasso.go.jp</p>
<p>各国大使館のHP</p>	<p>http://www.mofa.go.jp/mofaj/link/embassy/index.html</p>
<p>協定校HPへのリンク</p>	<p>http://www.tufs.ac.jp/studyabroad/schools/</p>
<p>東京外語会</p>	<p>本学同窓会組織である東京外語会では、現地の情報提供や海外支部の紹介などが可能ですので、アゴラグローバル2階の東京外語会プラザまでお問い合わせください。 【お問い合わせ先】 電話:042-363-0035 e-mail:plaza@gaigokai.or.jp</p>

海外安全情報・生活情報

<p>[外務省] 海外安全 ホームページ</p>	<p>http://www.pubanzen.mofa.go.jp/index.html 渡航先国の治安・医療情報、日本人が巻き込まれがちな犯罪・トラブルの紹介と回避策などの情報を、以下の方法で提供しています。 国別・地域別に、最新スポット情報、危険情報(渡航情報)、安全対策基礎データ(査証・出入国審査、滞在時の留意事項、風俗・習慣・健康、緊急時の連絡先等)、テロ概要、世界の医療情報、在外公館の連絡先などを見ることができます。 国・地域の別を問わない、海外旅行にあたっての注意も見ることができます。 役立つ情報が満載されていますので、留学を考える際だけでなく、海外旅行等に出かける際も目を通すことをお勧めします。</p>
<p>[外務省] 感染症関連情報</p>	<p>http://www.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/ SARSや新型インフルエンザをはじめとする感染症関連情報が掲載されています。上記の「海外安全ホームページ」のトップページからも辿ることができます。</p>
<p>[厚生労働省検疫所] 海外渡航者のための感染症情報</p>	<p>http://www.forth.go.jp このホームページでは、海外渡航者が渡航先で感染症にかからないために、渡航者、旅行関係者、医療従事者向けに海外での感染症情報や医療情報の提供を行っています。また、渡航前に受けておくべき予防接種の案内も国別に掲載されています。外務省の「海外安全ホームページ」とあわせて参照することをお勧めします。</p>
<p>[国際協力機構] 世界の様子 (国別生活情報)</p>	<p>http://www.jica.go.jp/seikatsu/index.html 国際協力機構(JICA)のトップページから辿ることができます。国際協力事業のために開発途上国へ派遣された専門家やJICA関係者の執筆を中心にしたさまざまな国の生活情報です。</p>
<p>在外公館リスト</p>	<p>http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/</p>
<p>[東京外国語大学] 危機管理ハンドブック</p>	<p>留学支援共同利用センターで配布しています。留学先に持参しましょう。</p>
<p>[東京外国語大学] 危機管理についてのオンライン教材</p>	<p>「TUFS Moodle」上に、「海外渡航における危機管理」および「留学と健康」のコースがあり、安全でよりよい海外旅行・留学をするために必要な危機管理についての情報がまとめられています。映像を見てチェックテストに取り組み、理解度を確認してください。</p>
<p>市販のガイドブック</p>	<p>留学に限らず海外旅行全般の最新情報については、市販の海外旅行ガイドブックを利用することも有効な方法です。海外ツアーや格安航空券、海外ホテル予約、外貨の紹介、海外旅行保険、生活習慣などの情報も得ることができます。</p>